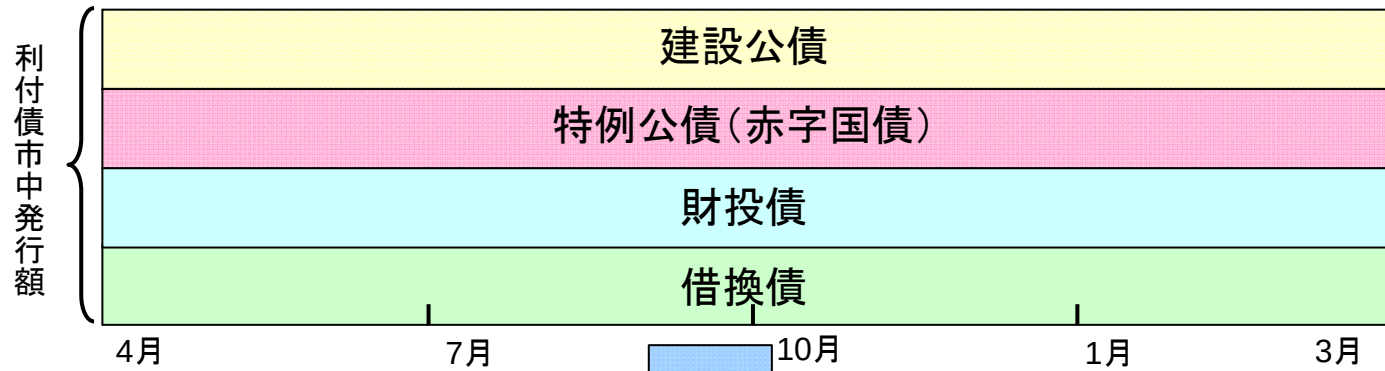


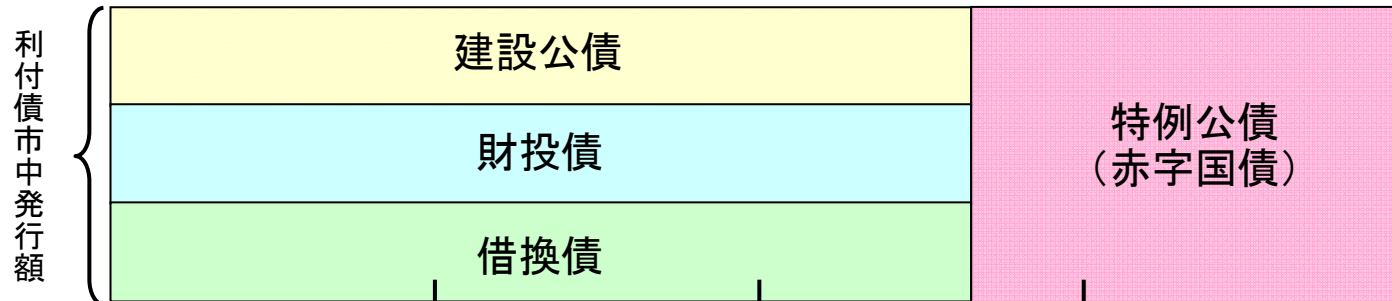
特例公債法案の成立遅延による国債発行への影響

例年

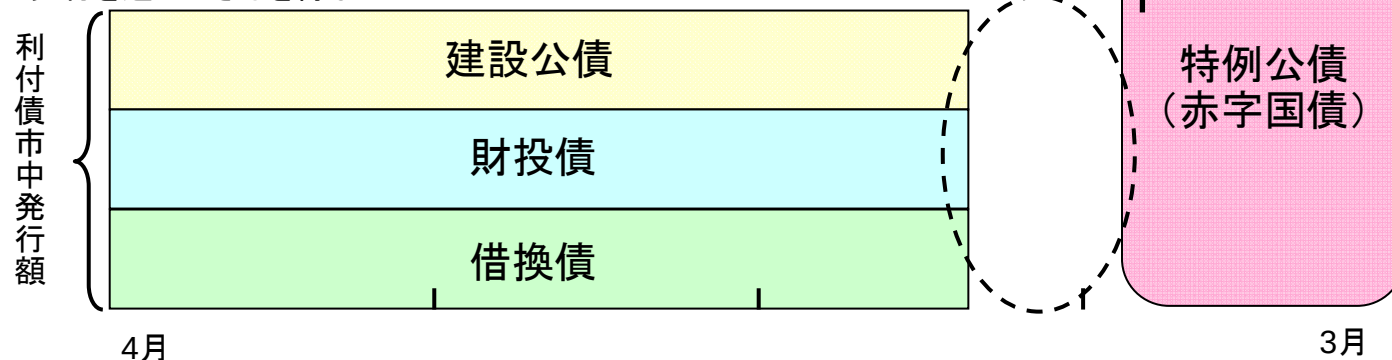


平成24年度

○特例公債の発行を目一杯後倒しとしても12月には発行を開始する必要



○11月中に特例公債法案が成立しない場合、成立するまでの間、特例公債の発行を遅らせざるを得ない



○平成24年度利付債市中
発行予定総額 約120兆円
→毎月約10兆円

※安定的に消化するため、毎月
ほぼ一定のペースで発行。

○平成24年度特例公債発
行予定額 38.3兆円

⇒約4ヶ月必要

利付債の市中発行額が
大きく増減し、市場に
不測の影響を与えるおそれ。